

## 令和2年第3回公安委員会会議録

日 時	1月30日（木曜日） 自午後1時30分 至午後5時00分	場 所	公安委員会室
会 議	公安委員	原委員長 高木委員 下山委員	
出席者	警察職員	本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長 交通部長 警備部長 情報通信部長	

### 第1 定例会議

#### 1 令和2年春の組織改正の概要について

令和2年春の組織改正の概要についての報告が行われた。

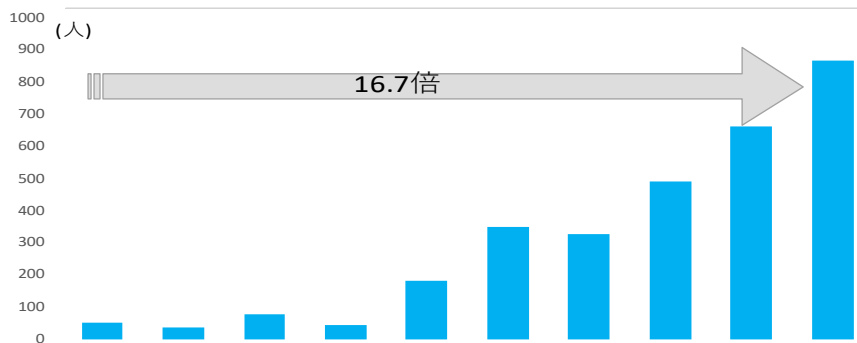
##### 【委員からの質問等】

委員から「新たな治安課題への対応などがあるが、新たな係を作ると必ず別の係から人を捻出しなければならなくなるので、全体のバランスを十分検討してもらいたい」旨の発言があり、警察から「組織全体で検討を行い、所属間の業務負担等から判断して、必要な所属に増員を行っている」旨の説明があった。

#### 2 令和元年中の児童虐待事案の現状について

##### (1) 児童虐待対応の現状

##### ア 通告児童数の年別推移（過去10年）



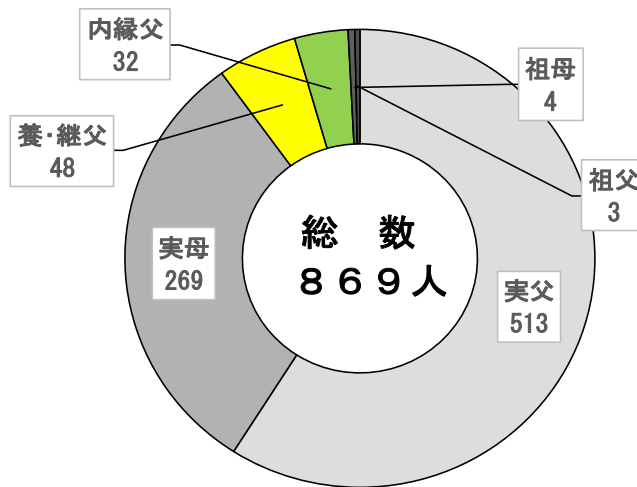
年次	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
通告児童数	52	38	77	43	181	351	329	490	662	869

##### イ 態様別通告状況

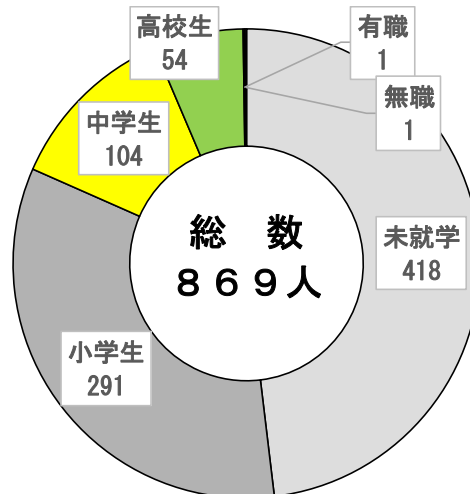
(人)

年次 \ 項目	総数	身体的	性的	ネグレクト	心理的	うち面前DV
R元年中	869	157	5	107	600	540
H30年中	662	125	4	53	480	427
増減数	207	32	1	54	120	113
増減率	31.3%	25.6%	25.0%	101.9%	25.0%	26.5%

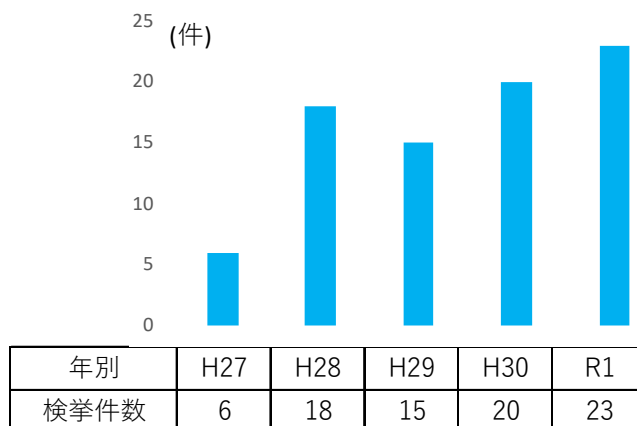
ウ 被害児童の学職別状況



エ 行為者の続柄別状況



オ 事件検挙件数の年別推移(過去5年)



(2) 児童相談所との連携強化による児童虐待防止対策の推進

- ア 児童相談所への人事交流の実施
- イ 協定に基づく情報共有の徹底
- ウ 保護児童の円滑な引継ぎ及び迅速な事件化措置
- エ 定期的な立入り、臨検・捜索実践訓練の実施

### 【委員からの質問等】

委員から「通告の件数が増加しているが、通報件数も増加しているのか」旨の発言があり、警察から「虐待に関する意識が高まっており、通報件数が増加し、警察から児童相談所への通告も増加している」旨の説明があった。

## 3 愛知県のSNSに起因する子供の性被害防止に関する取組と本県のサイバー補導の現状等について

### (1) 愛知県のSNSに起因する子供の性被害防止に関する取組

#### ア 趣旨

愛知県では、SNSに起因する児童の性的被害を防止するため、不適切な書き込みに対して、注意喚起のメッセージを投稿し、被害の未然防止を図っている（平成30年10月から実施）。

#### イ ツイッターに対する書き込み対策

サイバーパトロール→不適切な書き込みの発見→注意喚起の返信

#### ウ 注意喚起文の投稿件数

1, 537件

(H30.10.15～R1.10.14)

#### エ 対策の効果

平成30年10月に約6万5,000件

令和元年9月は約4万6,000件

全国で約2万件減少

(令和元年11月6日毎日新聞)

#### オ 取組の拡充

現在、13都道府県で同様の取組を実施

#### カ 注意喚起用ポスターとメッセージ



#### 【児童用】

こちらは愛知県警察少年課です。このツイートは児童買春などの被害につながるおそれがあります。また、見ず知らずの相手と会うことは、誘拐や殺人などの重大な事件に巻き込まれるおそれのある大変危険な行為です。

#### 【誘引者用】

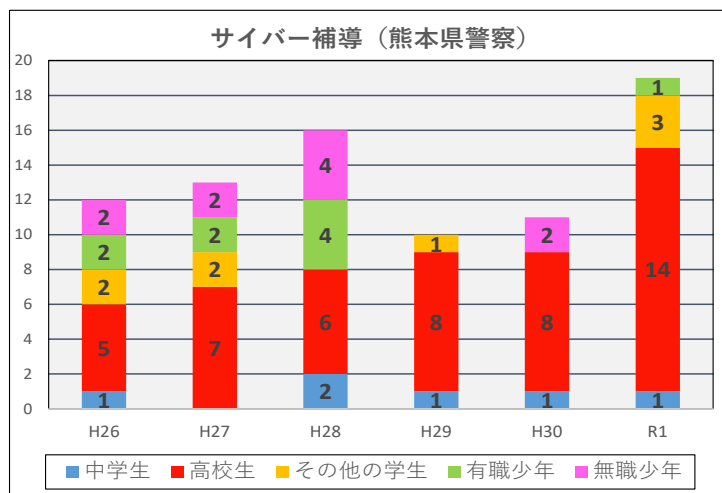
こちらは愛知県警察少年課です。児童買春や児童ポルノの製造等の子供への性犯罪は、子供の人権を著しく侵害する極めて悪質な行為です。

(2) 本県のサイバー補導の現状と今後の方向性

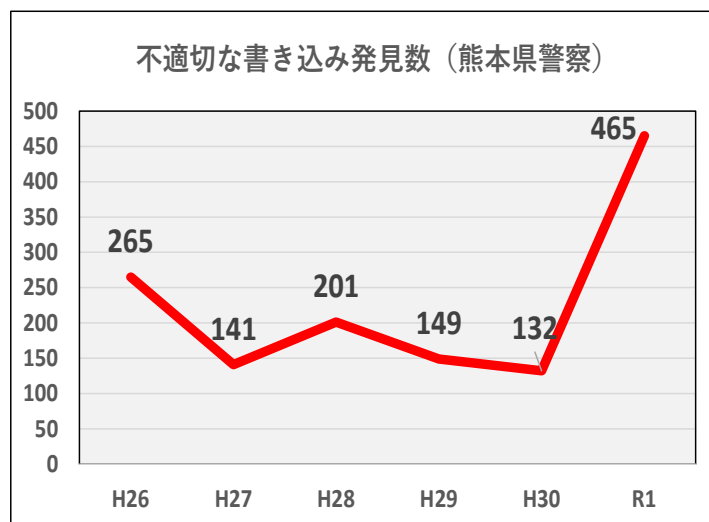
ア サイバー補導の目的

サイバーパトロールにより、児童による援助交際を求めるなどの不適切な書き込みを発見し、書き込んだ児童と接触して不良行為少年として補導するとともに、保護者に対して指導・助言を行うもの。

イ サイバー補導の推移



ウ 不適切な書き込みの発見件数



エ サイバー補導の特徴

- (ア) 夏季休暇中の補導が顕著（令和元年6月から8月まで7人補導）
- (イ) ツイッターの他に、SNS掲示板への書き込みが増加
- (ウ) 女子の援助交際を求める書き込みの他に、男子による性交を求める書き込みが増加（令和元年中の男子の補導は7人）

オ 今後の方向性

- (ア) 大学生サイバー防犯ボランティア（KC3）と連携した効果的なサイバーパトロールによる広報啓発活動の推進
- (イ) 重大な犯罪や悪質性の高い犯罪に巻き込まれる可能性のある書き込みに対する被害児童の安全確保を最優先としたサイバー補導の実施と事件化

【委員からの質問等】

委員から「東京で行われた国際会議のニュースで菊池高校の生徒達がきちんと

説明している様子を見たが、通訳は入ったのか」旨の発言があり、警察から「通訳が入っており、同時通訳で行われた」旨の説明があった。

### 第3 報告・決裁等

- 1 上天草警察署庁舎新築に伴う留置施設建設の報告  
留置管理課から報告が行われた。
- 2 令和2年春の人事異動日程等の報告  
警務部長から報告が行われた。
- 3 苦情(R1 No.6)回答の決裁  
地域課次席から説明があり、決裁が行われた。
- 4 犯罪被害者支援給付金の支給裁定の決裁  
被害者支援室長から説明があり、決裁が行われた。
- 5 サイバー補導の説明  
少年課補佐から説明が行われた。
- 6 令和2年第2回公安委員会会議録の決裁  
公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。
- 7 要望(R2 No.1)の受理等の決裁  
公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。